

平成18年12月18日

## 自らの力で分権改革の推進を

全国知事会地方分権推進特別委員会  
分権改革推進国民運動小委員会委員長  
佐賀県知事 古川 康

地方分権を進めるためには、地方自治体自らの自己努力以外に原動力はない。今後の地方分権改革を地方自らの力で進めるためには、まず次の3点が必要。

### 1. 地方自治の良さ「ニア・イズ・ベター」を「実話」で語る

地方自治の良さ「ニア・イズ・ベター」について、国民の理解を得るために必要なのは、各地方自治体の施策で証明すること。

現場を抱え、問題を把握することもでき、かつそれに対する対応策を打つことができる首長が「実話」を「現場写真」を手にして語ることが最も重要。

### 2. “自治の力を強める改革” にチャレンジ

地方分権改革・地方自治の充実は、知事の権限を強める改革ではなく、住民に近いところに力を集める改革。

新たな公共空間の創出、情報公開の推進など“自治全体の力を強める改革”を進め、中央集権の時代と地方分権の時代の政治・行政は、住民のかかわり方が違うことをアピール。

### 3. 全国知事会「先進政策バンク」の活用による切磋琢磨

情報発信のツール、切磋琢磨のツールとして、全国知事会に新たに設置された「先進政策バンク」の活用が必要。

各地方自治体が先進政策を登録し、それが新たな政策を生み出し、そして地方自治の良さ「ニア・イズ・ベター」につながる、そのようなサイクル・正のスパイラルをつくる。